

京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 「京(みやこ)あんしんこども館」を知っていますか？



- ◆京都市が9年前に梅屋小学校跡地に子どもの安心・安全を守るためにできた施設です。
- ◆子どもの病気や育児の不安の相談にベテラン小児科医・保健師・看護師が対応します。
- ◆子ども達に発生しやすい事故の調査と事故を減らすために予防対策を考えています。
- ◆9年間の来館者：23,684名（個人13,130名・団体10,554名）
- ◆9年間の保健医療相談：10,109件（電話相談8,677件）



◆◆◆◆◆事故のアンケート調査にご協力いただきありがとうございました◆◆◆◆◆

乳幼児製品の事故・・・

第1位	ベビーベッド	55件
第2位	ベビーチェア	52件
第3位	ベビーカー	39件
第4位	チャイルドシート	8件
第5位	お風呂関連用品	3件

乳幼児用品は安全か？：0歳児の事故はがき等で収集した乳幼児用品と関連して発生した事故は168件ありました。乳幼児用品と書いてあると、何となく安全な気がしますが、必ずしもそうではありません。0歳児の総事故1,578件の10.6%（10人に一人）の割合で多いのです。どのような事故が多いのでしょうか。

転落が最も多く、乳幼児用ベッドからの転落54件、ベビーチェアから51件、ベビーカーから32件、チャイルドシートから6件、お風呂関連から3件（タミーバス外国製・ベビバス外国製・ふる用浮き輪）、歩行器から1件、おむつ変えベッドから2件。その他は、転倒が8件（ベビーカー6件、歩行器2件）、挟み事故6件

（ベビーベッド1件、チェア1件、カー1件、チャイルドシート2件）、溺水3件、その他製品4件（クーハン・ゆりかご・抱っこ紐・ベビーゲート・ベビー用爪切り）、その他、3件。転落が168件中149件（89%）で、月齢別では0～3か月から16件（9.5%）、4～7か月が57件（34%）8～11か月が89件（53%）でした。乳幼児用品と書いてあると子どもに安全なような気がしますが、調査では必ずしも安全ではありません。生まれてすぐの児にも事故は起こります。多くは使用方法を読んでないとか、外国製品で良くわからないとか、リサイクルショップで購入し注意書きがない、などが問題です。お下がりものでも、正しい使用方法を読んで確かめてから使用してください。乳幼児用品は乳幼児に便利のようにできていますが、使い方には十分な注意が必要です。

ワンポイント

誤った使い方が最も危険。注意書、使用方法をよく読んでください。ベビーベッドに柵が取り付けられており、まだ動けないと勝手に思って柵をしていないのが最も危険です。利便性よりも安全を優先してください。

何をしているの？

- * 来館者にはセーフティハウスの見学と家庭内事故防止について説明しています。
- * 団体来館者には見学と小児科医による「子育て不安」、「児童虐待」「家庭内事故」等の話をしています。
- * 講習会ではお子さんの「心肺蘇生法講習会」、「チャイルドシート装着、幼児2人同乗用自転車の講習会」もしています。
- * 子どもの事故防止実践・応急手当マニュアルを進呈します（無料）。

場所は？

中京区釜座通丸太町上る梅屋町
（第二赤十字病院南隣）
TEL 代表 075-231-8002
相談 075-231-8005
FAX 075-231-8003
<http://www.anshinkodomokan.jp>